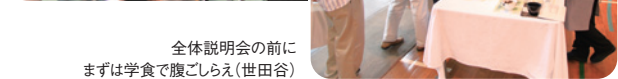




混声合唱団の美しい歌声に陶醉
(世田谷)



全体説明会の前に
まずは学食で腹ごしらえ(世田谷)

んでほしい」と要望。宮内新知識工学部長は「学生に満足してもらえよう、授業改善、進学就職支援、研究の充実に取り組んでいる」と話されました。最後に堀内忠後援会長が、学生の課外活動や行事などキャンパスライフの支援に加え、就職活動や緊急奨学金など生活面の援助など多岐にわたる後援会の活動を紹介し、「保護者と大学とが交流を深めながら、学生を支援していきたい」と結びました。その後、各学科・学年別の説明会と懇談会、希望者への個人面談が行われ、午後3時過ぎに閉会しました。

横浜キャンパス

環境情報学部らしい取り組みに 保護者の方々も「感心しました」

横浜キャンパスでは、午前9時50分から受付スタート。昨年同様多数の保護者が参加されたため、2つの教室に分かれ、これらを連携する形で、10時20分、全体説明会が始まりました。

その中で中村学長は、就職について「現在も非常に厳しい状況が続いているが、この難局を乗り切るためにも専門的な技術と知識を身につけることが大切。何でもやるという学生でなく、専門性の高い人材の育成を目指している」と力強く語り、堀内後援会長も「我々後援会は、これからも大学の求め

る学生像への手助けを惜みずにしていきたい」と大学の取り組みを側面から支援することを明言されました。

続く増井忠幸環境情報学部長は、大学として初めて環境ISOを取得した同学部のエコロジカルキャンパスの概要を簡単に紹介し、「このキャンパスには、自分のやりたいことのできる環境が整っている。夢に向かって有意義な学生生活を送ってもらえるよう、様々な面から支援します」と宣言。さらに小堀洋美大学院教務委員長、中原秀樹YCキャリア委員会委員長から、それぞれ学修・大学院進学と、就職に関する取り組みについて説明、報告がされました。

説明会の後、保護者の皆様は、各自学生食堂で食事を取ったり、キャンパス内を自由に見学したりと、しばし学内の雰囲気を楽しみ、とりわけ中庭に新しく作られたピオトープには多くの方が興味津々で、「いかにもこの学部らしい環境に配慮した取り組み」との感想もいただきました。

午後1時からの学科・学年別懇談会では、やはり就職関連の話題に注目が集まり、質疑応答も活発に行われました。

等々力キャンパス

学部創設から1年。保護者の熱意がキャンパスを席巻

等々力キャンパスでは、午前10時50分の受付開始時刻のかなり前から保護者の皆様が長い列を作りました。



全体説明会(横浜)



中庭に設けられたピオトープ(横浜)

横浜キャンパス

参加された保護者の方々の感想



佐藤 允哉君のご両親
(情報メディア4年)

毎年参加しておりますが、これで最後。ゼミの先生にお礼を申し上げたいですね。キャンパスの風景を目に焼き付けてから帰ります。



山崎 直子さんのご両親
(環境情報1年)

単位や成績のことが聞きたくて。就職情報にも関心があります。このキャンパスはとても環境が良く、娘は喜んで大学に通っています。



坂本 太郎君のお母さん
(環境情報4年)

説明を聞いて、改めて就職状況が厳しいことを認識しました。本当に知りたい情報をオープンに提供してくれた大学に感謝します。



佐久間 星人君のお母さん
(情報メディア4年)

今までは大学生の親がわざわざ来る必要もないと思っていました。初参加して、もっと大学のことに関心を持つべきだったと感じました。



竹下 沙希さんのご両親
(環境情報3年)

キャンパスの環境がとても素晴らしいですね。これからもここから有為な人材を社会に送り出してもらいたいと思っています。



松田 健史君のお父さん
(情報メディア2年)

学部長が仰っていたように、このキャンパスを見ると、学生が望みさえすれば、本当にどんなことでも学べるような気がします。